

音読

俳句のリズムと言葉を味わおう
俳句音読プリントの学習の手引き

年

名前

俳句の音読と暗唱の手引き 2

プリントの俳句の季語を見つけましょう



音読プリントの「俳句1」には春をよんだものを、「俳句2」には夏、「俳句3」は秋、「俳句4」は冬をそれぞれによんだものをのせています。それぞれの句の季語を見つけてみましょう。
季語は、情景を思いえがく手がかりとなります。

春をよんだ俳句

雪とけて 村いっばいの 子どもかな

梅一輪 一輪ほどの あたたかさ

赤い椿 白い椿と 落ちにけり

古池や 蛙飛びこむ 水の音

菜の花や 月は東に 日は西に

春を表す主な季語

かげろう・おぼろ月・ひばり・よもぎ・花見・山吹・梅・うぐいす・はまぐり・春雨・柳

秋をよんだ俳句

柿食へば 鐘が鳴るなり 法隆寺

朝顔に つるべ取られて もらひ水

秋深き 隣は何を する人ぞ

桐一葉 日当たりながら 落ちにけり

名月や 池をめくりて 夜もすがら

秋を表す主な季語

星月夜・夜長・すいか・ひぐらし・紅葉・菊
天の川・ぶどう・稲妻・稲刈り・花火・虫

夏をよんだ俳句

五月雨を 集めて早し 最上川

閑かさや 岩にしみ入る 蝉の声

夏草や 兵どもが 夢の跡

金亀虫 なげうつ闇の 深さかな

五月雨や 大河を前に 家二軒

夏を表す主な季語

麦の秋・夕立・梅雨・新緑・風かおる・田植え
行水・ほととぎす・蛭・青田・金魚売り・虹

冬をよんだ俳句

いくたびも 雪の深さを 尋ねけり

いざ子ども 走りありかん 玉霰

うまさうな 雪がふうはり ふうはりと

斧入れて 香におどろくや 冬木立

大根引き 大根で道を 教へけり

冬を表す主な季語

木枯らし・霜・ねぎ・みかん・こたつ・七五三
初雪・炭火・たき火・枯葉・北風・雪遊び